

《二〇二二年度 第二回試験 国語》解答例

- ① うやま ② きんいつ ③ へ ④ 専属 ⑤ 温厚 ⑥ 招待  
⑦ 耕 (2点×7)

二 問一 1 エ 2 イ 3 ア 4 オ (2点×4)

問二 【二つ目】 プログラム 【三つ目】 マニュアル (2点×2)

問三 1 エ 2 ア (2点×2)

問四 環境の変化 (3点)

問五 解答を自分で考えなくてはならず、行動を誤ってしまうことがあること。(5点)

問六 (1) ー ウ ー オ (2点×2) (2) ア (3点)

問七 (1) 哺乳動物の子どもたちが、親が保護してくれる安全な環境の下で、成功と失敗の経験を積み重ねながら、獲物を捕る方法や仲間との接し方、また、何が危険かなどを学ぶ。【77字】 (6点)

(2) 【遊び】(例) 学年のドッジボール大会での、友人とのけんか。(2点)  
【「遊び」と言える点】(例) ルール違反をめぐる初めは激しい言い争いになったが、先生が見守る中で、冷静に話し合って納得し合うことを経験できた点。(4点)

三 問一 梨乃を普通の高校生として見るのではなく、地震のかわいそうな被害者として特別にあつかう見方。(6点)

問二 (1) 吹奏楽部に入りクラリネットを吹くこと。【19字】 (3点)

(2) 地震による余裕のない気持ちや生活。【17字】 (3点)

問三 ② (4点) 問四 イ (2点)

問五 (1) イ (3点)

(2) 自分が体験し、感じたことは、このだれにもわからない、わかるわけがない(5点)

問六 なんとか努力してその時間を終える、という意味。(3点)

問七 息子の死や変わってしまった家族、というつらい現実。(5点)

問八 (例) 身につけるものは、それを身につける対象や身につけている様子を想像し、死んだ息子を思い出してしまうので。(6点)

問九 知らない (3点)